資料－２

名取川流域シンポジウム

名取川、広瀬川とともに

～一緒に考えてみませんか、名取川・広瀬川の未来～

参加費は無料です

平成２０年３月１６日（日）

時間/１０:００～１２:３０　開場/９:３０～

場所/仙台市博物館　ホール

①基調講演　『川は流域の姿を写す鏡』

江成 敬次郎 氏（東北工業大学環境情報工学科教授）

②ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ　『名取川、広瀬川とともに』
～一緒に考えてみませんか、
名取川・広瀬川の未来～

コーディネーター
江成 敬次郎 氏（東北工業大学環境情報工学科教授）

パネリスト
今村 文彦 氏（東北大学大学院工学研究科教授）
伊藤 絹子 氏（東北大学大学院農学研究科助教）
工藤 秀也 氏（広瀬川市民会議　副理事長）
日下　均　氏（広瀬川の清流を守る会　代表理事）
菊地 重雄 氏（川崎町の資源をいかす会　理事長）

主　催　名取川河川改修促進期成同盟会

後　援　国土交通省仙台河川国道事務所、宮城県

【問い合わせ先】名取川河川改修促進期成同盟会事務局
（仙台市役所　建設局　百年の杜推進部　河川課内）
住所：〒980-8671仙台市青葉区国分町3-7-1　TEL：022-214-8836

次　　第

1．あいさつ

2．基調講演
　演題「川は流域の姿を写す鏡」
　　東北工業大学工学部環境情報工学科教授：江成　敬次郎　氏

　　（休憩）

3．パネルディスカッション
　『名取川、広瀬川とともに』
　　一緒に考えてみませんか、名取川・広瀬川の未来

　コーディネーター
　　東北工業大学工学部環境情報工学科教授　江成　敬次郎 氏
　パネリスト
　　東北大学大学院工学研究科教授　　今村　文彦　氏
　　東北大学大学院農学研究科助教　　伊藤　絹子　氏
　　広瀬川市民会議　　副理事長　工藤　秀也　氏
　　広瀬川の清流を守る会　　代表理事　日下　均　氏
　　川崎町の資源をいかす会　　理事長　菊地　重雄　氏
　アドバイザー
　　国土交通省仙台河川国道事務所長　所長　足立　徹　氏
　　宮城県仙台土木事務所　　所長　佐藤　政典 氏

4．事務局からのお知らせ

名取川水系流域シンポジウム
『名取川、広瀬川とともに』

意　見　応　募　用　紙

さしつかえなければ、該当するいずれかに○を記入願います。

性　　別	男　・　女
年　　齢	１０代・２０代・３０代・４０代・５０代・６０代・７０歳以上
お住まいの地域	仙台市　・　名取市　・　川崎町　・　村田町　・　その他

Q：名取川、広瀬川について、あなたの想い、ご意見をご自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

基調講演後の休憩時間に回収いたします。会場後部に設置しております意見募集箱にお入れいただくか、係のものにお渡しください。

名取川水系流域シンポジウム
『名取川、広瀬川とともに』

アンケート用紙

さしつかえなければ、該当するいずれかに○を記入願います。

性　　別	男　・　女
年　　齢	１０代・２０代・３０代・４０代・５０代・６０代・７０歳以上
お住まいの地域	仙台市　・　名取市　・　川崎町　・　村田町　・　その他

Q：シンポジウムのご感想について、該当する□にレを記入願いします。（複数回答可）。

○内容はわかりやすく、理解できた　　□はい　□いいえ　□わからない

○このようなシンポジウムを今後も開催して欲しい

□はい　□いいえ　□わからない

○名取川、広瀬川が身近に感じられた

□はい　□いいえ　□わからない

○名取川、広瀬川について改めて知ることが出来た

□はい　□いいえ　□わからない

Q：その他、ご感想等がございましたらご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。
お帰りの際に、受付の回収ボックスまたは、係のものにお渡し願います。

名取川、広瀬川に関する意見等			意見要旨	意見内容	分類
①治水対策について					
	治水－１	災害発生の防止または軽減	豪雨災害等に対応するため、堤防整備等の市民の生命と財産を守る治水対策を進めて欲しい。	名取川、広瀬側の河川管理には出水時の管理と平常時の管理があるが、市民の生命、財産を守る治水は最優先で考えられるべきと考える。一度、洪水被害を受けると大規模なダメージを受け、大きな環境破壊となる。	会場
				名取川は水源地から河口までの距離が短く、日本の河川の代表的な例だと思う。今後、ますます家屋の増加が予想されることから、防災対策として、まれな「多量雨」に対する配慮が今後重要になる。	意見用紙
				「川」はみんなのもの。災害の発生に対応できる堤防の構築を。	アンケート
②河川利用について					
	利用－１	河川利用について	川を利用したイベント等、川を利用する機会を増やして欲しい。	川をきれいにする活動、川とふれあう催し等を、1年を通じて開催してほしい。	意見用紙
				川を利用した楽しいイベントを多く実施することが市民に川に親しませ、関心を持たせることができる。	アンケート
				平常時の名取川、広瀬川は、豊かな水、緑の空間として、いやし効果もある。仙台市名取市民の財産として他に誇れる川としたい。そのためにも市民をもっと川に近づける活動を増やしたい。	会場
				ボート遊び場の復活。	意見用紙
			子供たちが楽しく遊べる川を目指して欲しい。	子供が自由に楽しく安全に川遊びが出来る川が、自然保全、環境、生産性、生活の中で防災、水質等の向上、すべて含んでいると思います。	会場
				自然にまかせる部分が基本と考える。市民が自己判断で川に入るので、入り口をもっと作るべき。ただ、危険であるというPRはしておくべき。施設はいらないが、広場を造るべき。（子供たちは勝手に遊ぶ）	意見用紙
			名取川についても、広瀬川のような（環境）整備を進めて欲しい。	名取川は平安時代からの川なのに、どうして広瀬川のように整備されないのか。（説明版、遊歩道など→相ノ瀬渡し）名取川は、枕草子にも載っている。	意見用紙
			河川利用のため、トイレを設置して欲しい。	天気のよい日には、広瀬川沿いの整備された川岸の道を歩くのを楽しみにしている。（賢淵から広瀬橋）高齢者のウオーキングで気を配るのはトイレであり、要所に数カ所、目立たぬように設置してあると女性には特に喜ばれる。	意見用紙
			川面がみえる場所を増やして欲しい。	広瀬川の川面が見られる場所が少ないと思う。（遊歩道が全部つながっていない。）西公園から川面を見られるようにできないものか。	意見用紙
			市民と行政が一緒になって、河川利用を考えるべき。	環境にやさしい水環境、生活環境を考えた名取川、広瀬川の利用保全を	アンケート
				パネラーの意見も大切。どのようにして日常生活の中で川を利用出来るか市民も行政も一緒になって考えるべき。	アンケート
	利用－２	不法占用の排除について	不法占用を排除し、公共の土地として利用できるよう整備すべき。	河川敷の有効利用 無秩序に思える農地としての利用や一部の土建業者の資材置場としての利用は、公共の土地の利用としては正常ではないので,皆が利用できるような公園スポーツ施設、借農地等にして広く市民が公平に利用できるようにすべき。	意見用紙
	利用－３	漁業権について	釣りについては、公平性に疑問を感じている。また、子供は無料にして欲しい。	釣りをするにも漁業組合の許可証が必要だが、川は一部の人の物ではないはずです。皆が公平に利用できるべきではないか。	意見用紙
				つりに関しては、子供達は全面無料にすべきと思う。子供達が屋外に出るチャンスをつくるべきと考える。	アンケート
③河川環境について					
	環境－１	工事の実施について	事業の必要性を吟味し、貴重な環境を保全して欲しい。	仙台市の貴重な環境として、名取川・広瀬川を保持してもらいたい。工事等を実施する際にも本当に必要な事業なのか、よく検討した上で決めるべきである。	アンケート
	環境－２	魚がのぼりやすい川について	魚類の遡上できる河道を整備して欲しい。	魚が多くみられる様にして下さい。サケを川の上流にもみられる様、計らって下さる様お願い申し上げます。	意見用紙
				サケが三居決までのぼれるような魚道を作ってほしい。	意見用紙
				上流域に住んでいますが、放山附近が広瀬川としては再考する必要があります。魚は上流にのぼれません。行政として再考して下さい。	アンケート
	環境－３	生態系保全について	川に住む動物(小鳥等）のため、河道内での花火大会は中止して欲しい。	広瀬川は市街地の河川としての位置づけで、大変親しまれており、なくてはならない川であるが、川を「生きる場」としての動物（小鳥等）のため、夏の「花火」などはぜひやめてほしい。	意見用紙
			笊川のように、名取川・広瀬川にも蛍が飛び交うことを望みます。	私は笊川の環境整備の工事に携わっており、年々環境が整備されています。笊川の上流では、ほたるも復活しております。名取川、広瀬川もほたるが飛びかうようになる事を望みます。	アンケート
	環境－4	外来種対策について	セイダカアワダチソウ等の外来種をなんとかして欲しい。	誰もが「セイタカアワダチソウ」をぬかない人柄になってしまった日本人。酸素を出してくれるにしてもやはり外来種はできるだけぬかなければ。	アンケート
	環境－５	次世代への継承について	現在の自然や清らかな流れを保持しつつ、文化・伝統も含めて継承していって欲しい。	自然を残しつつ、いつまでもきれいな川であってほしい。宮城県の飲み水（ダム）にも使用されていますので次世代に残すもっとも大切な財産だと思っております。水は人間にとってきってもきれないものです。	会場
				広瀬川がいつまでも清らかな流であること。	意見用紙
				両河川の保全はもとより、河川に関わる文化や伝統もあわせ、次世代に継承できるようにしたい。特に忘れ去られようとしているもの再発掘。	意見用紙
				清流が後世に引き継がれるような工夫が必要と思う。	意見用紙

名取川、広瀬川に関する意見等			意見要旨	意見内容	分類
④維持・管理について					
	管理－１	河道管理について	ゴミ対策として、河道内樹木を伐採して欲しい。	川の中の木は大水でゴミがたまるので、切ってほしい。	意見用紙
			人が川辺に近づけるよう草刈りをして欲しい。	川辺の草刈りを行い人が近づける川にしてほしい。	意見用紙
	管理－２	不法投棄等について	不法投棄等の防止のため、「車の進入の禁止」「監視カメラの増強」「パトロールの強化」「メディアの活用」等を検討すべき。	河川敷に車が入れる道路があるため、粗大ゴミが放棄されている。車が侵入できなくすべきだ。	意見用紙
				・ゴミ、犬のフンが多い。人々のモラルの問題ではあるが、解決の方策はないものか。	意見用紙
				河川施設に対する管理と不法投棄物の処理に対するパトロールの強化が必要と考える。	意見用紙
				川は水が流れているだけでは川ではなく、魚や鳥、川辺の草も相まって生活している。我々川に親水するためにも川を汚さない努力が必要。不法投棄はもちろん、ペットボトルや缶などの置き捨ては目に余るものがある。市民各自がゴミの投棄をやめ、水の環境にやさしくありたい。	会場
				本日参加された方々は意識高く、川にゴミ等を捨てる方はいないと思うが、現実には多数のゴミが捨てられている事をメディアを通してもっと知らせるべきと思う。	アンケート
				太白区の監視カメラいいね。国交省もっとがんばって。監視カメラを多くして。	アンケート
	管理－３	車の利用について	河川区域内での車利用の利便性を高めて欲しい。	堤防の上の車が通れる区間で幅が狭くすれ違うのが困難な場所がある。どうにかならないか。	意見用紙
				鮎釣りを行う者としては、堤防の車止めを撤去して、川辺まで車で移動できる河川にしてほしい。他河川と較べ制約がある。	意見用紙
				市民、県民の立場から河川管理を行ってほしい。自由使用の原則がありながら車による乗り込みが、他河川（県外）より劣っている。改善よろしくお願いします。	アンケート
	管理－４	河川清掃について	河川清掃（行事）の機会を増やして欲しい。	清掃行事は年1回ではなく、春夏秋冬と4回行うことにより、市民が清掃と水への関わりの理解にも繋がる。（小学校時代に松淵やカシコ淵、ねこ淵などで泳いだ者として、昔のように泳げるようにしたい。）	意見用紙
⑤その他					
	その他－１	河川流域の保全について	水源となる山林の育成や清掃等、河川流域の保全についても検討すべき。	河川流域の大事さも感じているか。 水源の山林地位の維持育成についても非常に心配している。 現在、釜房ダム水源の維持浄化の活動の手助けをしているが、広瀬川についても里山の育成、人材の活用等はいかがかと関心があり、参加。	会場
				川もたいせつですが、山清掃も考えてもらいたいです。	アンケート
	その他－２	今後の方向性について	杜の都仙台を代表する全国に誇れる川を目指すべき。	これからの時代における名取川・広瀬川のあるべき姿等の主なポイントを列記する。 ・後世への継承 50年、100年・・・と若い世代へ貴重な遺産をどのように継承してゆくべきか？杜の都仙台を代表する全国に誇れる川を目指すべきではないか。 ・問題、課題の抽出、整理、評価の実施 市民及び県民の生活変化は「川」という自然の存在と密接な関係があると思われることから、まちづくり、防災、観光、水質、動植物等の生態系にて、海との関係等、さまざまな視点から現状の問題・課題等を検証してはどうか。 ・多様な利活用の検討・行動の実践 多くの人に喜ばれ、愛される川になるべく、具体的な活動を展開していくべきと思う。	意見用紙
			広瀬川・名取川の自然や環境資源の活用と、それを活かしたまちづくりを進めるべき。	広瀬川、名取川と市街地の自然地形をたくみに利用した「水と杜の都」のシステムを未来にもつなげる事を望む。	意見用紙
				河川を自然の資源、環境資源ともっと有効に活用すべきだ。	意見用紙
				城付近のけい谷部あたりは、川ぞいの活用を構想すべきではないか。～「川に顔を向けたまちづくりという意味で」	アンケート
			種々の具体的な活動を実践していくべき。	名取川、広瀬川をより良い物にする活動を実践しつつ、人間の側として地球温暖化対策、食物資源の創出、小・中・高校生を対象とする教育実験フィールドの利用、海運・船運産業のリンクをいろいろ考えていくと宜しいと思います。具体的な状況をもっと明確にしてゆくことが必要と思いました。本日はありがとうございました。	アンケート
			市民との協働が重要である。	広瀬川の清流を土台にして、地球温暖化への備え、山地に起こる異常乾燥、大量の降雨等異常気象による災害や、自然力の回復にその必要性とその支援など市と市民の協働が機能する要素が明確である。この働きによって広瀬川の新しい魅力が創出されることを期待する。創出されるであろう新しい魅力にはどのように取り組むか？	アンケート
				もっと市民の声を。	アンケート
			広瀬川研究所（仮称）やランドスケープの学会の設置を希望する。	河川の流域景観（ランドスケープ）を守る学会を立ち上げてほしい。水流あって水路、水路あって流域、それらは各々権利を持って存在する。ともすれば河川の利水のみが強調されがちだが、水利、利水ともに副次的問題であり、河川はエコ問題以前に、そのその存在の権利がある。関係者の日夜の努力に感謝しつつ、21世紀の河川対応をお願いする。	意見用紙
				みんなの力が一つになり、より推進できたらいいと思います。広瀬川研究所（仮名）などで統一したらいいと思います。どうもありがとうございました。	アンケート
				河川流域のランドスケープの学会を立ち上げてほしい。流水・流路・流域の三要素、まとめての河川の姿であり、彼等（河川）の権利でもあります。ソウルの河上道路の再生（取外し）こそ如実に物語るものです。広瀬川に50年住んで川の声が「かなしみ」に聞こえます。先生方よろしくお願いします。	アンケート

名取川、広瀬川に関する意見等		意見要旨	意見内容	分類
⑥シンポジウムについて				
シンポジウム－1	企画について	テーマを決め（絞って）、定期的に開催して欲しい。	川の防災についてお願いします。	アンケート
			定期的にテーマを決めて開催してほしい。	アンケート
			もう少し、国交省仙台地方局から河川じきの利用将来計画について話を聞きたかった。	アンケート
			話題が総論的だったと思われる。もう少し、ポイントをしぼった具体的な話が聞きたかった。	アンケート
		広瀬川ばかりに注目せず、名取川についても議論すべき。	広瀬川だけでなく、名取川をもっと取り上げて欲しい。	アンケート
			広瀬川が強調されていますが、名取川の方が仙台市を通る流域面積が広いのであれば、広瀬川・名取川の名前を使用すべき。	意見用紙
			河川毎説明内容に差が生じており、名取川に関する話題が少ない。もっと両河川の内容を検討してほしい。	アンケート
		総論的になり、主旨が伝わらなかった。	何を言いたかったのでしょうか？行政の共動ですか？	意見用紙
		子供たちが参加できるよう、教育の一環として実施するなど工夫して欲しい。	子供も参加させるべき。	アンケート
			小・中学生が来やすい時期や集まれる場所で教育の一環としても開催されるとよいと思います。	アンケート
シンポジウム－2	設営・準備・案内等について	設営、案内に不手際がありました。	会場内暗くてメモ取れない！！（講演）。遅く来た人は、後方に座らせろ（迷惑だ）。	アンケート
シンポジウム－3	プログラム・進行について	十分に時間をとって、掘り下げた議論を希望する。	時間が短く、掘り下げた話が聞けなかった。もう少し開催時間など検討すべき。すばらしいパネリストがいらっしゃったのに残念です。次回に期待しています。	アンケート
			よい企画だった。これから充分時間をとって計画して下さい。	アンケート
			しかし、いろいろな立場の方が集まったシンポなので、立場、見知の違いをもとに、防災環境保全という一見相反する事象について大いに議論を戦わせて欲しかった。市民は、その議論を聴くことで初めて自分達の問題として考え始めることが出来ると思う。	アンケート
			具体的で大変わかりやすかった。各講師の時間が少なすぎなので、開催回数を多くしてもらうと良いが。	アンケート
		一般市民の参加について工夫が必要。	一般市民の方々を参加させる工夫が必要。	アンケート
			会場からの発言も受け付けて欲しい。	アンケート
		行政としての考え方を聞きたい。	仙台河川国道事務所の「名取川の概要」はいらなかった。シンポジウムに参加している人はみんな知っていることで、その時間分パネルディスカッションを多くした方が良かった。	アンケート
			市民の活動参加のためにどうするべきなのか？行政の方がパネラーとして発言されてもよかったかな。	アンケート
シンポジウム－4	コーディネータ・パネリストについて	コーディネータ・パネリストの方々の話が好評でした。	コーディネーターの江成先生も含め、パネリストの皆様のお話がとてもわかりやすかった。（説明がとても上手でした）	アンケート
			コーディネーター、パネラーの話が特によかった。江成先生の広瀬川の条例の話が特に印象に残った。	アンケート
			パネリストの皆さんの熱意が伝わるシンポジウムでした。	アンケート
			コーディネーターの方が上手でした。	アンケート
			流域のシンポジウムで農学も入ってて良かった。	アンケート
			基調講演について、作成のスライドの御学識に対し、敬服する。	アンケート
シンポジウム－5	その他	多くの、様々な感想をいただきました。	この様な場に人生初めて出席しました。その訳は川は生活するにあたって人間生きてゆく為にとても大事なものです。一人の人間として川にまつわる話をぜひ聞きたく参加致しました。今日の話で川を身近に感じることができてありがとうございました。	アンケート
			水と人間生活のかかわり、こんなに深いものかと考えさせられた。	アンケート
			色々参考になりました。	アンケート
			市民と行政の協働の難しさを改めて感じた。	アンケート
			名取川、広瀬川の未来について、私も何らかの目標を考えて行動をしていきたいと思った。	アンケート
			学経、NPO等の話が解りやすく聞くことができた。河川を守るためだけの目標ではなく、積々の目標達成のための活動が色々あることに改めて関心しました。	アンケート
			「燈台下暗し」（地元の事をあまりにも知らなかった）と恥入りました。	アンケート
			時間がないなか、楽しい思いの会でした。	アンケート
			今日のシンポジウムは梅原市長の提案とのこと。とてもよかった。今後も期待します。都市の道路を動脈とすれば、河川は静脈とも言えるだろうか。愛する広瀬川を「学ぶ」ため参加しました。専門分野をわかりやすく、各グループの活動を要領よく説明されてよかった。市民の行政の「協働」の言葉が実感できた気分です。ありがとうございました。	アンケート
			ふだん、何も考えずながめていた名取、広瀬川の歩みを身近で感じられたような気がします。	アンケート
			私達の生活に潤いを与えてくれる広瀬川に感謝し、今後とも末永く愛していく為、大切に保存していかなくてはと改めて認識致しました。清らかな川を守る為にも様々なイベントに参加し守っていく協力をしていきたいと考えております。	アンケート
			ゴミ対策のネットはショッキングでした。後半のパネルディスカッションでは、パネラーの個々のお話にも興味深くうかがいました。全体としては良いシンポジウムで、来てよかったです。ありがとうございます。結構良いシンポでした。	アンケート
			非常にわかりやすく、改めて関わりのある方が多数いることがわかった。	アンケート
			河川環境の保全、改善等については、市民一人一人の意識と活動が不可欠であることを強く感じた。声だけではなく、行動の重要性を痛感した。	アンケート
			都市景観を大切にしている仙台市民として自然の一部であり、生態系の基本である水資源を重要視するため、災害を防ぐことを除いて大切にしていきたい。	意見用紙
			貞山運河の歴史や観光資源としての価値を再認識したいと思います。	意見用紙
			仙台市民・名取市民が自慢出来る川、胸をはって次の世代に引き継いでいく川となるよう、一市民として協力していきたい。	アンケート
			名取川、広瀬川に対する環境保全に対する内容がよくうかがわれていて、とても良いシンポジウムだと思った。	アンケート
			市民、住民が楽しめる川を考えて行く事が大切である。洪水の話しが良く出て来るが、何のために上流域にダムが出来たのか、ダム建設後の洪水が何回あったのだろうか、その出水の元は何が原因で水位が増したのか、考える必要があると思う。下水の構造を考えて行動すべきと思う。例えば、東西線の地下鉄建設の際にトンネルはオープンカット方式なので両側に仙台中心部の下水管を埋設する方法を整備した場合、広瀬川の水質や量の変化が出て来ると考えている。	意見用紙
			広瀬川の清流を守る取り組みを今後も続けて欲しいし、私も市民として協力していきたい。	意見用紙